

平成20年8月11日

各位

上場会社名 第一工業製薬株式会社
 代表者 代表取締役社長 大柳 雅利
 (コード番号 4461)
 問合せ先責任者 専務取締役 坂本 隆司
 (TEL 075-323-5955)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	26,800	680	540	250	6.40
今回発表予想(B)	27,200	230	150	△20	△0.51
増減額(B-A)	400	△450	△390	△270	――
増減率(%)	1.5	△66.2	△72.2	――	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	23,738	265	67	617	15.81

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	53,600	1,280	1,000	460	11.78
今回発表予想(B)	55,400	970	750	390	9.99
増減額(B-A)	1,800	△310	△250	△70	――
増減率(%)	3.4	△24.2	△25.0	△15.2	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	48,875	623	351	436	11.17

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	22,300	400	370	190	4.87
今回発表予想(B)	22,000	△160	△150	△130	△3.33
増減額(B-A)	△300	△560	△520	△320	――
増減率(%)	△1.3	――	――	――	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	19,807	△16	△79	515	13.19

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	44,600	720	660	330	8.45
今回発表予想(B)	45,000	200	170	150	3.84
増減額(B-A)	400	△520	△490	△180	――
増減率(%)	0.9	△72.2	△74.2	△54.5	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	40,345	45	△77	163	4.18

修正の理由

個別の第2四半期累計期間の業績予想については、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益とも、急激かつ異常ともいえる原油・ナフサ価格の高騰による原材料費の値上げが利益を圧迫し、更に、当第1四半期から適用となりました企業会計基準第9号「棚卸資産の

評価に関する会計基準」による棚卸資産の簿価切り下げ額が巨額となり、売上の拡大、販売価格への転嫁、コストダウン及び人件費の圧縮や営業経費の削減などの諸施策を実施してまいりましたが、売上利益の大幅な減少を賄いきれず、前回予想を大幅に下回る見込みとなりました。

通期の個別業績予想については、売上高は前回予想を上回る見込みですが、第1及び第2四半期の影響により、営業利益、経常利益、当期純利益は、前回予想を下回る見込みとなりました。

連結の第2四半期累計期間の業績予想については、売上高は前回予想を上回る見込みですが、個別決算の悪化に伴い、営業利益、経常利益及び当期純利益は前回予想を大幅に下回る見込みとなりました。

また、通期の連結業績予想についても、売上高は前回予想を上回る見込みですが、個別決算の悪化に伴い営業利益、経常利益、当期純利益は、前回予想を下回る見込みとなりました。

以 上